

メモリ

Windows

メモリ診断ツールを使用してメモリに異常がないか確認したい

Windows の標準機能である「Windows メモリ診断ツール」を使って、パソコンに内蔵されているメモリに異常がないかどうか確認することができます。OS起動時になにか異常が起きる場合や、パソコンの使用中に動作がおかしくなるようなことが起きた場合などに、一度メモリ診断を行ってみるとよいでしょう。下記よりメモリ診断ツールの実行手順を ご説明いたします。

メモリの診断にはメモリ容量により所要時間が異なり、数時間～半日以上の時間がかかる場合がありますので、時間に余裕をもって行うことをお奨めします。

Windows メモリ診断ツールの実行

1. Windows メモリ診断ツールの開始

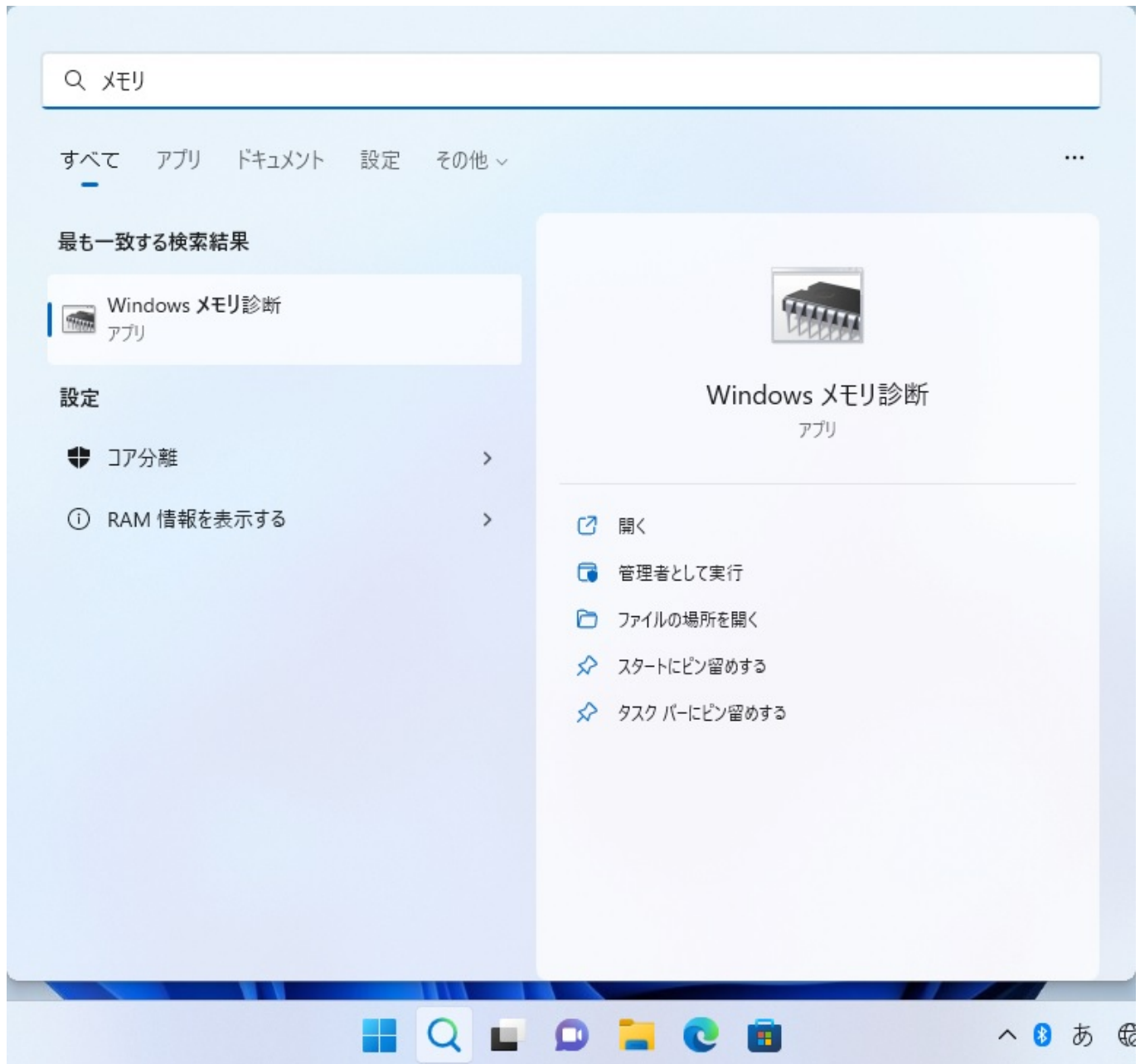
Windows 11 の場合

タスクバーの検

索ボタン(虫眼鏡アイコン)をクリ

ックして表示された検索窓に「メモリ」と入力します。すると検索結果に「Windows
メモリ診断」と表示されてますので、これをクリックします。

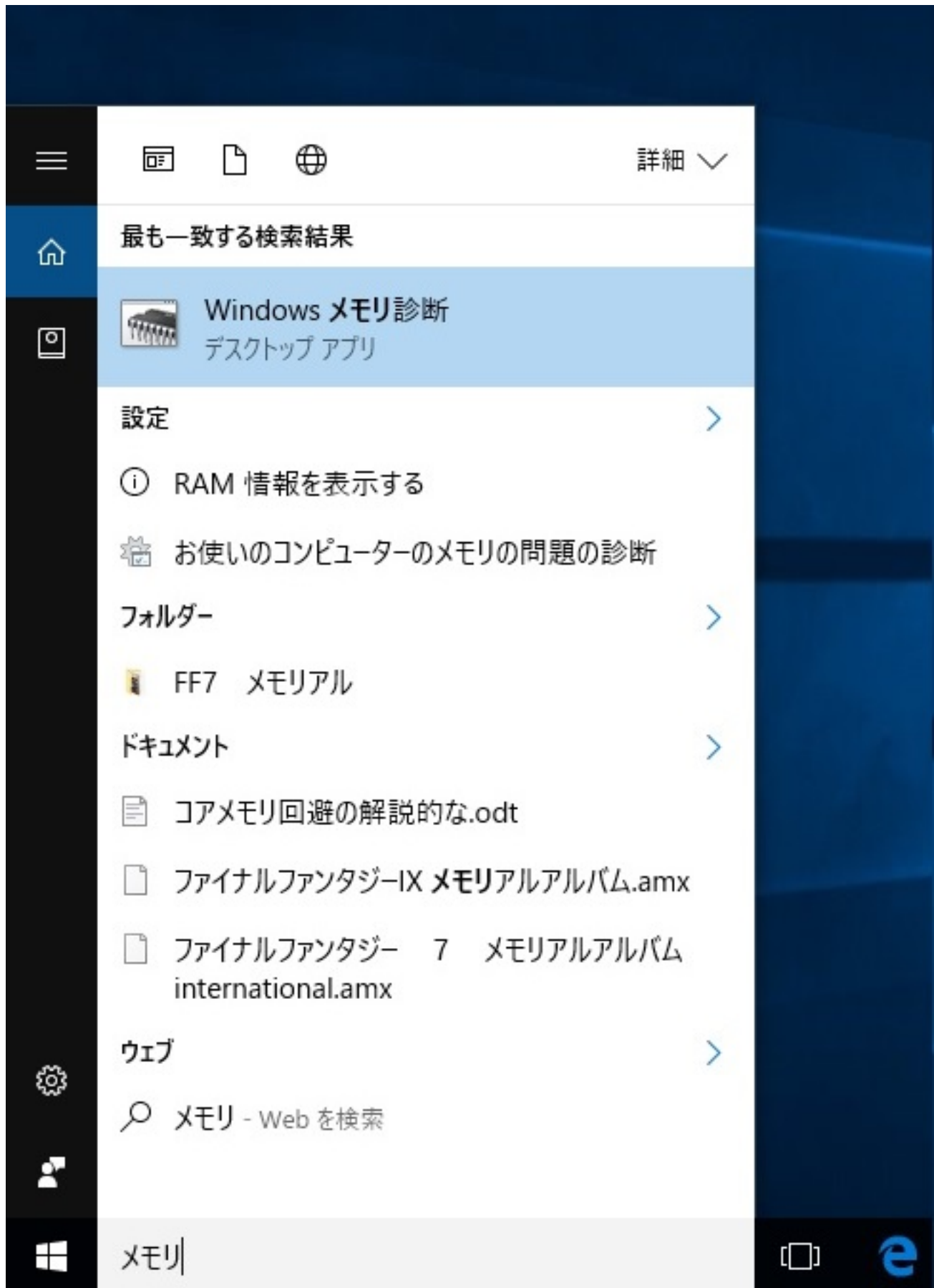
メモリ



Windows 10 の場合

タスクバーの検索窓に「メモリ」と入力します。すると検索結果に「Windows メモリ診断」と表示されてますので、これをクリックします。

メモリ



Windows 8 / 8.1 の場合

ページ 3 / 13

(c) 2024 Tsukumo Support <ttc-t@tsukumo.co.jp> | 2024-05-09 11:09

URL: <https://faq.tsukumo.co.jp/index.php?action=artikel&cat=94&id=229&artlang=ja>

メモリ

チャーム表示から「**検索**」をクリックし、検索窓に「**メモリ**」と入力します。すると検索結果に「**お使いのコンピューターのメモリの問題の診断**」と表示されてますので、これをクリックします。

検索

すべての場所 ▾

メモリ



お使いのコンピューターのメモリの問題
の診断



仮想メモリのサイズの変更方法



M31Eメモリ増設.pdf

メモリ

メモリー

メモリッジ

メモリースティック

メモリーカード

メモリ増設

メモリッジ ログイン

メモリークリーナー

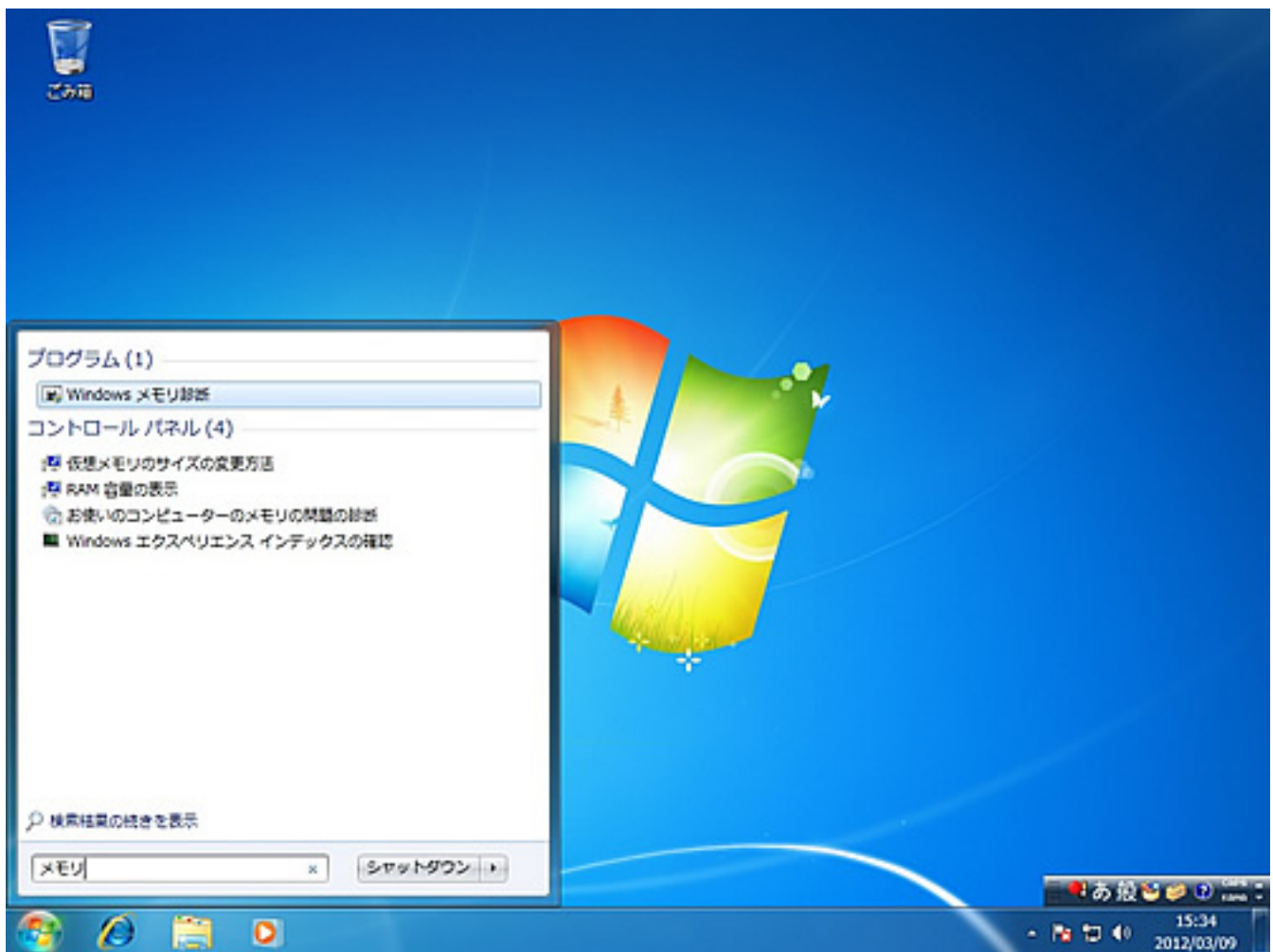
メモリーズ

メモリ

Windows 7 の場合

画面左下の「スタート」ボタンをクリックし、表示されたスタートメニュー内の「プログラムとファイルの検索」と表示されているテキストボックスに「メモリ」と入力します。入力すると、「Windowsメモリ診断」が表示されますので、これをクリックします。

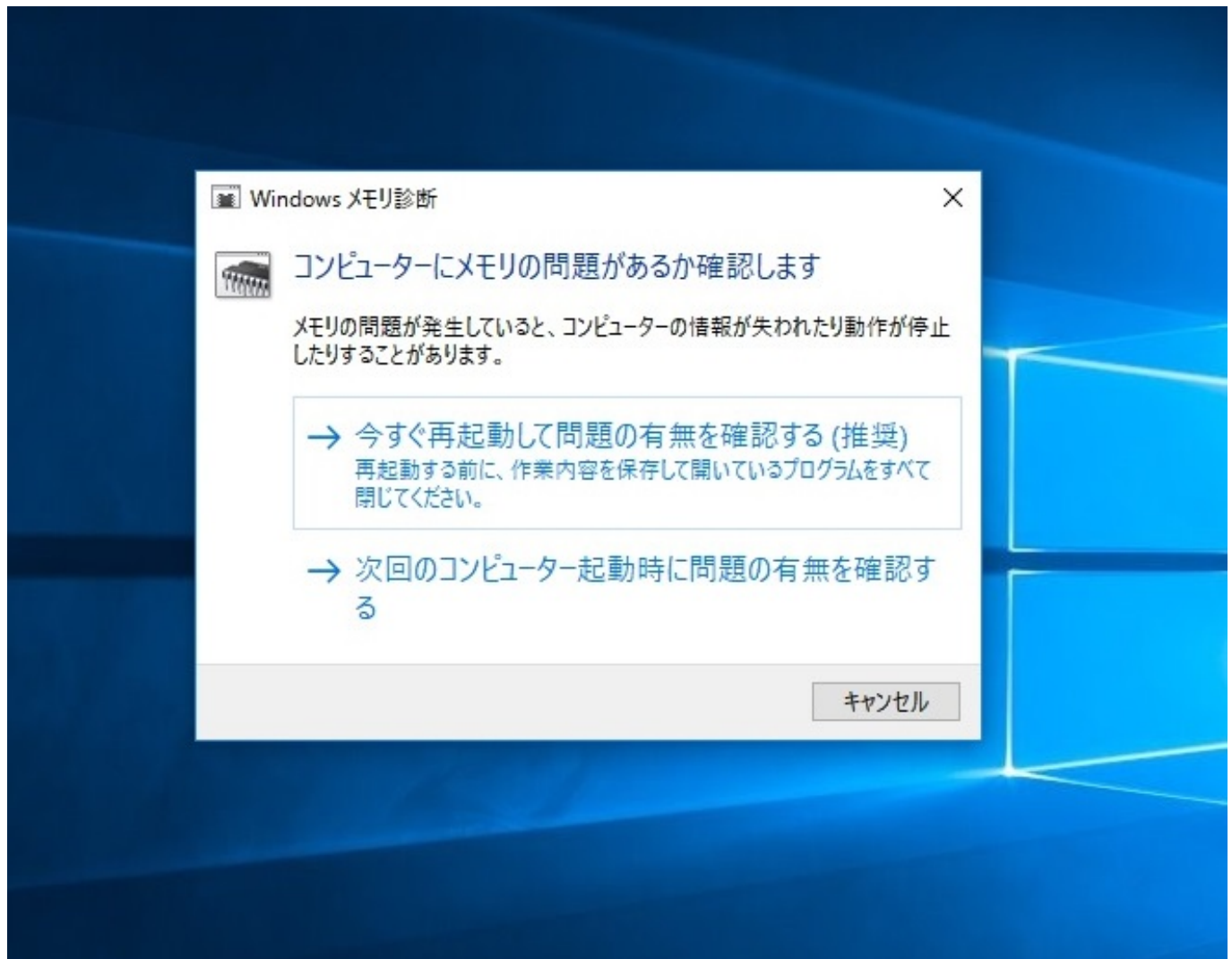
クリックした際に画面が暗くなり「ユーザーアカウント制御」が働く場合には、「続行」ボタンをクリックします。



2. Windows メモリ診断ツールの実行

「Windows メモリ診断」が表示されますので、「今すぐ再起動して問題の有無を確認する」をクリックします。クリックするとWindowsが再起動します。

メモリ



3. Windows メモリ診断ツールの起動

再起動の途中でメモリの診断が始まります。設定を変更して行いますので、診断が始まったらキーボードの「F1」キーを押して、設定画面を出します。

メモリ

Windows メモリ診断ツール

メモリに問題がないかチェックしています...
これには数分かかることがあります。

テスト パスを実行しています 1 / 2: 02% 完了
全体的なテストの状態: 01% 完了



状態:
まだ問題は検出されていません。

テストは、アクティブでないように見えているときでも実行されています。テストが完了するまでお待ちください...

コンピューターは自動的に再起動されます。テスト結果は、ログオン後に再び表示されます。

F1=オプション

ESC=終了

4. 診断の設定の変更

カーソルキーを押して、「テストミックス」の項目で「標準」を選択します。選択したら「Tab」キーを押して、カーソルを「パスカウント」に合わせます。合わせたら、「パスカウント」の回数に「5」を入力します。変更が完了したら「F10」キーを押して、診断を開始します。

パスカウントを「0」にすると、手動で停止するまで診断を繰り返します。Windowsがうまく起動しないことがある場合には、あえて「0」にして実行して5回以上パスするか確認することもできます。

テストミックスを「拡張」にすることで詳細な診断ができますが、16GBの容量で1回1日程度と非常に時間がかかるようになります。

メモリ

Windowsメモリ診断ツール - オプション

テスト ミックス:

基本
標準
拡張

説明: 拡張テストは全標準テストとMATS+(キャッシュ無効)、Stride38、WSCHCKR、wStride-6、CHCKR4、WCHCKR3、ERAND、Stride6(キャッシュ無効)、CHCKR8を含みます。

キャッシュ:

既定
オン
オフ

説明: 各テストの既定のキャッシュ設定を使用します。

パス カウント (0 ~ 99): [5]

説明: テスト ミックス全体を繰り返す回数の合計を設定します
(0 = 無制限)。

TAB=次へ

F10=適用

ESC=キャンセル

5. 診断の実行中

診断が実行されたら、終了するまで待ちます。テストが20%程度の段階で停止して動かないように見える場合がありますが、その場合でもテストは進行しており異常ではありませんので、そのまま待ちます。診断が終了すると自動的に再起動がかかります。

メモリ

Windows メモリ診断ツール

メモリに問題がないかチェックしています...
これには数分かかることがあります。

テスト バスを実行しています 1 / 5: 01% 完了
全体的なテストの状態: 00% 完了

状態:
まだ問題は検出されていません。

テストは、アクティブでないように見えているときでも実行されています。テストが完了するまでお待ちください...

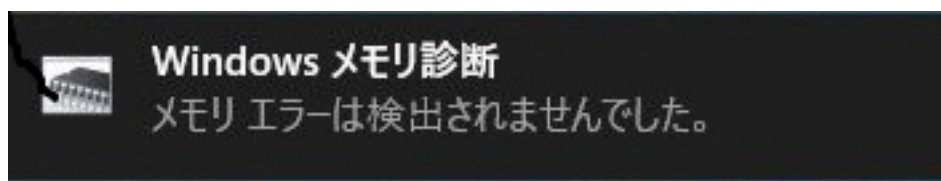
コンピューターは自動的に再起動されます。テスト結果は、ログオン後に再び表示されます。

F1=オプション

ESC=終了

6. 診断の完了

再起動がかり、デスクトップ画面に進むと、診断の結果が表示されます。異常がない場合は「メモリエラーは検出されませんでした」と表示されます。

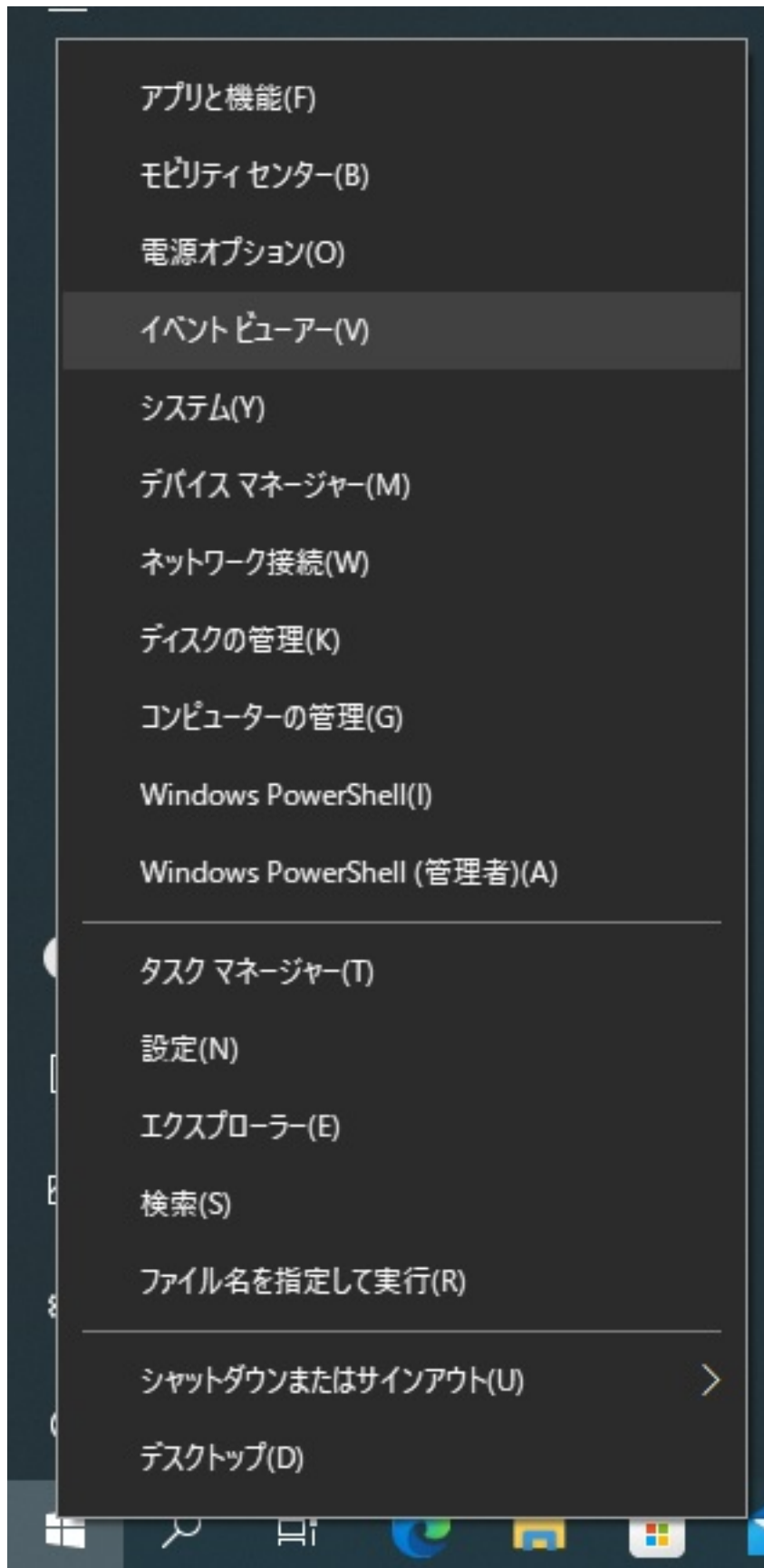


イベントビューアーでテスト結果を確認する(Windows 8.1以降)

テスト結果は次の手順でイベントビューアーでも確認することができます。

1. スタートボタンを右クリックして表示されるメニューから「イベントビューアー」をクリックします。

メモリ



2. イベントビューアーが表示されたら、左ペインの「Windowsログ」内の「システム」をクリックして開きます。

メモリ

イベントビューアー (ローカル)

概要および要約

最終更新日時: 2022/09/17 17:20:08

概要

ご使用のコンピューターで発生したイベントを表示するには、コンソール ツリーで適切なソース、ログまたはカスタム ビュー ノードを選択してください。管理 イベント カスタム ビューには、ソースに関係なくすべての管理イベントが表示されます。すべてのログを集計した表示を下に示します。

管理イベントの要約

イベントの種類	イベント ID	ソース	ログ	過去 1 時間	24 時間	7 日
重大	-	-	-	0	0	0
エラー	-	-	-	21	21	69
警告	-	-	-	56	56	157

最近表示されたノード

名前	説明	更新日時	作成
Windows ログ#システム	該当なし	2022/09/17 17:15:34	2020/10/03 13:25:49
Windows ログ#Forwarded E...	該当なし		

ログの要約

ログの名前	サイズ (現...	更新日時	有効	アイテム保持ポリシー
Windows PowerShell	2.07 MB/1...	2022/09/17 17:14:46	有効	必要に応じてイベントを上
USER_ESRV_SVC_QUEEN...	68 KB/1.00...	2022/05/23 19:32:12	有効	必要に応じてイベントを上

3. 中央ペインの上半分からソースが「Memory Diagnostics Results」になっているものを探してクリックします。

イベントビューアー

システム イベント数: 36,971

レベル	日付と時刻	ソース	イベント ID	タスク
情報	2022/09/17 17:27:05	Service Control ...	7040	なし
情報	2022/09/17 17:25:01	Service Control ...	7040	なし
情報	2022/09/17 17:24:22	Kernel-General	16	なし
情報	2022/09/17 17:24:11	Time-Service	158	なし
情報	2022/09/17 17:15:11	WindowsUpdate...	19	Wind
情報	2022/09/17 17:15:11	Service Control ...	7045	なし
情報	2022/09/17 17:15:04	WindowsUpdate...	43	Wind
情報	2022/09/17 17:15:04	WindowsUpdate...	44	Wind
情報	2022/09/17 17:12:53	Service Control ...	7040	なし

イベント 7040, Service Control Manager

全般 詳細

Background Intelligent Transfer Service サービスの開始の種類は 自動的な開始 から 要求による開始 に変更されました。

ログの名前(M): システム

ソース(S): Service Control Manager

イベント ID(E): 7040

レベル(L): 情報

ユーザー(U): SYSTEM

オペコード(O): 情報

詳細情報(D): [イベント ログのヘルプ](#)

ログの日付(D): 2022/09/17 17:27:05

タスクのカテゴリ(Y): なし

キーワード(K): クラシック

コンピューター(B): TSUKUMO

メモリ

4. 中央ペインの下半分に結果が表示されます。「Windowsメモリ診断により、コンピューターのメモリテストが行われましたが、エラーは検出されませんでした」と表示されれば、メモリは正常です。

Memory Diagnostics Resultsはパスカウントの回数分だけ記録されます。

The screenshot shows the Windows Event Viewer application. The left pane shows the 'System' log. The center pane displays a list of events, with the event 'MemoryDiagnostics-Results' (ID 1201) selected. The right pane shows the 'Details' tab for this event, which contains the message: 'Windows メモリ診断によりコンピューターのメモリがテストされましたが、エラーは検出されませんでした'.

レベル	日付と時刻	ソース	イベント ID	タスク
情報	2022/09/17 17:04:55	Hyper-V-VmSwitch	9	(1005)
情報	2022/09/17 17:04:55	Hyper-V-VmSwitch	232	なし
情報	2022/09/17 17:04:55	Hyper-V-VmSwitch	233	なし
情報	2022/09/17 17:04:52	Hyper-V-VmSwitch	233	なし
情報	2022/09/17 17:04:51	Service Control ...	7045	なし
情報	2022/09/17 17:04:47	TPM-WMI	1025	なし
情報	2022/09/17 17:04:47	TPM-WMI	1282	なし
情報	2022/09/17 17:04:46	MemoryDiagnost...	1201	なし
情報	2022/09/17 17:04:46	MemoryDiagnost...	1101	なし

イベント 1201, MemoryDiagnostics-Results

全般 詳細

Windows メモリ診断によりコンピューターのメモリがテストされましたが、エラーは検出されませんでした

ログの名前(M): システム
ソース(S): MemoryDiagnostics-Results
イベント ID(E): 1201
レベル(L): 情報
ユーザー(U): SYSTEM
オペコード(O): 情報
詳細情報(D): [イベント ログのヘルプ](#)

ログの日付(D): 2022/09/17 17:04:46
タスクのカテゴリ(Y): なし
キーワード(K):
コンピューター(B): TSUKUMO

一意的なソリューション ID: #1228

製作者: k.kogawa

最終更新: 2022-09-17 17:48